

令和 5 年度学校推薦型選抜 小論文
地域創生学部地域創生学科 地域文化コース

問 1

「出題の意図」

本学及び地域創生学部・地域文化コースのアドミッション・ポリシーに基づき、文化・社会・経済的事象への強い関心、社会問題の解決のために自ら行動する意欲、物事を複数の視点から相対的に捉える思考力、自分の考えを論理的に伝えることができる表現力を総合的に評価することを目的として出題した。

「採点のポイント」

- ・課題文の要点を的確に把握しているか。具体的には、食べ物が商品となり、環境保全より利益をあげることが優先されてしまう資本主義経済の仕組みに組み込まれてしまったという筆者の主張が書かれているかどうか。
- ・課題文に提示されている根本的な問題を把握できているか。
- ・自身の考えを論理的に組み立て、説得力のある主張が展開できているか。
- ・文章に主語・述語のねじれ、誤字、脱字などの誤りはないか。

問 2

「出題の意図」

本学及び地域創生学部・地域文化コースのアドミッション・ポリシーに基づき、高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、地域の文化について学ぶうえで必要な思考力・読解力・表現力があるか、いかに文化を継承し、それを異なる文化のものに伝えることができるか、多文化共生・ダイバーシティの必要性を論理的に説明できるかを問うことを目的として出題した。

「採点のポイント」

①伝歴と太子伝の相違点が示されていること。

具体的には、伝歴では蝦夷が日本を攻めたときに、太子は、武力による鎮圧ではなく、徳による説得を天皇に進言し、蝦夷の大將が都に呼び寄せられ、末代まで忠誠を誓う。一方、中世太子伝では記事が増幅され、蝦夷は日本の都近くまで攻め上ってくる など。

②聖徳太子の行動に対する考えが述べられている。

- ・文章の論旨が明確であり、論理に矛盾がないか。
- ・文章に主語・述語のねじれ、誤字、脱字などの誤りはないか。

以 上